

◆2022年度 きょうとNPOセンター 事業計画

ほっとけないを ほっとかない市民社会創造の旗手ー 特定非営利活動法人きょうとNPOセンター2022年度基本方針

2021年度後半、「つなげる つながる つくりだす」を新たなテーマとした第5次中期経営計画(2021ー2025)の完成及び公開をすることができ、運用をスタートさせることとなりました。多くの社会課題に対して、簡単に解決を求めることはできないとはいえ、常にその課題を認識し、「半歩先に行く質量感のある事業を展開し続ける」こと、また、今までの常識にとらわれず社会の変化に合わせて学びほぐす(unlearn)ことで、生きにくさを抱える人に常に寄り添い、課題や社会と共にある活動を推進する「ほっとけないを ほっとかない市民社会創造」を基本方針として、「第5次中期経営計画(2021ー2025)」を策定しました。

2022年度は、第5次に掲げている7つの重点項目に基づいた着実な歩みを進めていく必要があります。特に、経営基盤の適正化及び多様な財源で構成する財政基盤の強化にむけて、組織の運営体制を改変して成果の創出を目指すこととしています。また、本年度の前半には京都市市民活動総合センター(以下、しみセン)の次期指定管理者申請に向けての対策が必須であり、市民活動促進にむけたさらなる礎となるべく計画の練り込みに取り組んでいく必要があります。さらに、KNCとしての自主事業をはじめ、しみセン以外の継続的な受託事業や新規委託事業の受託にむけて、さらに取り組んでいきます。運営に関しては、引き続きwithコロナ時代の「新しい普通」を想定し、オンラインを活用した事業展開や多様な市民活動団体のオンライン活用環境を支援する活動を推進するとともに、オフライン実施の特筆性や重要性を意識したメリハリのある運用を継続して行っています。

それぞれが有する能力・特徴を活かしながら「半歩先に行く」ワクワクするような提案ができる組織を構築し、公共のための社会課題解決の事業を創出、きょうとに住むすべての人が幸せを感じることで市民社会づくりを目指します。

事業タイトル	事業概要
京都市 お宝バンク・市民サポーター(京都市委託事業)	2016年度から継続受託
「輝く学生応援プロジェクト」運営業務	京都市から受託(継続:2年目) 学生応援アワード事業を発展的に取り組む
立命館大学公認心理士産業部門実習生受入れ業務	実習生への講義
研修/講座事業の運営	講師・講演等派遣事業
ろうきんNPOパートナーシップ制度	近畿県内の中間支援組織などと連携。KNCとしては、災害時連携NPO等ネットワークの事業等に連動。
公益活動ポータルサイト「きょうえん」運営	認証基準の変更、開示情報の確認と認証、資源仲介の実施、HP管理 ※運用を再検討
KYOTO HAPPY NPO(京都三条ラジオカフェ)	KNC設立当初からの取組み、2022年度に限り番組制作費支援
第9回祇園祭ごみゼロ大作戦運営協力	京都市市民活動総合センターボランティアコーディネート、他
人材育成/職員研修	専門研修参加、メンター制度運用、合宿実施、定期面談予定
支援会員獲得事業	京都地域創造基金を寄付窓口としたハイスペックコンサルテーション事業と連動及び地域企業との連携
きょうと地域共生研究会	社会活動に関心が高い地域企業経営者をはじめとするメンバーと、地域共生に関する定期的な研究会を開催(KNCが運営事務局を担当)
福祉サービス第三者評価事業	AACから依頼を受けて調査員を派遣。
コンサルテーション事業	各種団体からの相談対応及び相談スキルアップ、北部地域での展開
KNCホームページ管理運営、情報収集・発信事業	IT専門スタッフを設置、ホームページマイナーチェンジ

災害時連携NPO等ネットワーク運営参画	災害時に備え、NPO同士及び行政など多様な連携による平時からのつながりを構築
Save Japan Project	損保ジャパンをファンドとして、日本NPOセンターが運営する環境プロジェクト
NPOと地域の連携促進事業	2022年度以降、しみセン事業として継続して運営。
京都市市民活動総合センター運営	指定管理期間 第4期 4年目／4年間